## 花瓶山（はなかめやま）の環境保全及び周辺整備について

**菊池　久光 議員**

**質問**　栃木百名山の1つである花瓶山の環境保全を行い、地域の貴重な財産・観光資源として生かしていくべきと思うが考えを伺います。

**答弁（産業振興部長）**　花瓶山は、八溝山系の茨城県との県境に位置し、山頂周辺の茨城県側は、茨城森林管理署により花瓶山冷温帯性植物群落保護林として管理されています。花瓶山に向うには、主要地方道大子黒羽線を須賀川方面に進み、明神トンネル先より市道須賀川1号線に入り、さらに如来入林道を歩くことになりますが、作業用林道終点の土場までの約5キロメートルは、車で行くことも可能になっています。山頂から大倉尾根伝いには、イワウチワやカタクリの群生地があり、自然が手つかずの状態で残っています。これら群生地は、大変貴重な地域資源であることから、その環境保全が最も重要であると考えています。塩那森林管理署の協力をいただきながら、地元須賀川地区の方たちや「黒羽山の会」の方たちとともに、対応を協議し、十分な環境保全の体制を整え、観光資源としての活用を考えていきます。

イワウチワ

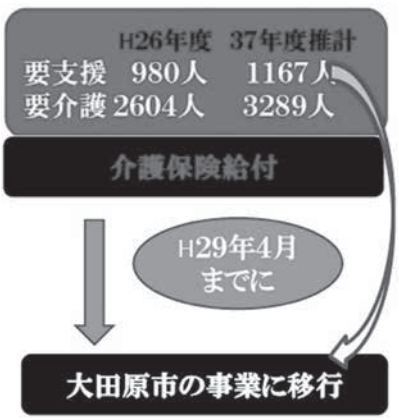
## 介護保険制度の改正及び本市介護保険事業について

**滝田　一郎 議員**

**質問**　本市の介護保険事業が65歳以上の介護保険料に与える影響について伺います。

**答弁（保健福祉部長）**　本市はこれまで県内の中でも充実した介護サービスの提供に取り組んできました。その結果、65歳以上の第1号被保険者が負担する介護保険料の基準額は月額5800円となり、県内で一番高い保険料になっています。本市の介護保険事業は、高齢者人口に対する認定率が、平成26年度は19・7％で県内1位です。今後も毎年100人以上増え、平成29年度には認定率が20・2％となる見込みで、65歳以上の高齢者の5人に1人の割合となります。介護サービスにかかる費用も、平成26年度は約53億円でしたが、平成29年度は65億円を超える見込みです。

　また、市内の施設・居住系サービス基盤の整備状況は、高齢者人口に対する施設の定員は、県内25市町のうち2番目であり、施設の受け入れ人数は充実しています。このような現状から、介護保険料は、事業計画を定めるサービス費用見込額等に基づき、3年間を通じて財政の均衡を保つように設定しています。




要支援、要介護者の推移予測